

2024

発行日 毎月1日 通算発行 455号

3



協会報



今月のトピックス

北陸地方整備局との意見交換会(後期)の開催
令和6年能登半島地震におけるアクセスルートの確保
(道路啓開)
令和6年能登半島地震災害激励の御礼



《石川の工芸シリーズ®》

加賀友禅会館蔵

か が 友 禅 会 館 蔵
加賀友禅黒留袖「草花文」

かじやま しん
梶山 伸【明治41(1908)年—平成9(1997)年】

制作年／平成元(1989)年 サイズ／幅130×高さ160cm
梶山伸は金沢市に生まれ、父・星年に師事。昭和元(1926)年、金沢市実業練習生として東京三越染工部へ派遣され、1年間友禅技術を研修後、家業を継いだ。空間を生かした作風を得意とし、新文展、日展などで活躍。昭和53(1978)年には石川県指定無形文化財保持団体に認定された加賀友禅技術保存会の初代会長を務めた。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人 石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2024

3



《石川の工芸シリーズ68》
かが ゆうせんくろとめそで そうかもん
加賀友禅黒留袖「草花文」
梶山 伸(かじやま しん)

1 今月のトピックス

- 北陸地方整備局との意見交換会（後期）の開催 1
- 令和6年能登半島地震におけるアクセスルートの確保（道路啓開） 2
- 令和6年能登半島地震災害激励の御礼 3

2 最近の完成工事から

- 一般国道304号清水谷バイパスの開通 ～県内全ての区間の整備が完了～
石川県土木部道路建設課 4

3 令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.3

- 三和建設株式会社 6

令和5年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.4

- 株式会社表組 8

4 雇用改善コーナー

- 工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する協会長表彰の実施 10

5 地区協会コーナー

- ～未来型商業エリアの実現に向けて～ 提案された加賀温泉駅南地区の開発構想について
(一社)加賀建設業協会 11

6 今月の「輝き！」さん No.107

- 石川建設工業株式会社 ^{えがわひろと} 江川寛翔さん 12

7 協会だより

- 常任理事会の開催 13

- 担い手確保・育成等特別委員会

- 令和5年度富士教育訓練センター派遣事業の実施について 13

8 石川県土木施工管理技士会だより

- 石川県技士会への支援金と義援金の御礼 14

- JCMセミナー（DVD講習会）の開催 14

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

一般社団法人
石川県建設業協会
GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

- ホーム
- 協会案内
- お知らせ
- 講習会・研修会
- 協会報
- 指名競争入札参加
- お問い合わせ

今月の「輝き！」さん

現場で活躍する
女性はカッコイイ

建設共済保険

建設共済保険

建設業労働災害防止協会
石川支部

“未来”を創り
“ふる里”を守る
建設産業

f t i y

YouTube

ホームページをご覧ください

◆ 今月のトピックス ◆

北陸地方整備局との意見交換会（後期）の開催

開催日時 令和6年2月26日（月） 15：30～17：00
開催場所 金沢ニューグランドホテル
出席者 北陸地方整備局 遠藤仁彦局長、信太啓貴企画部長、
桑島正樹金沢河川国道事務所長、
杉本 敦能登復興事務所長 他4名
石川県建設業協会 平櫻 保会長、鶴山庄市副会長、中市勝也副会長、
小中出佳津良副会長、山岸 勇専務理事他役員11名、事務局2名

概 要

冒頭、遠藤仁彦局長が、「石川県建設業協会の皆様には災害協定に基づき、さまざまな災害支援を担っていただき厚く感謝申し上げます。県協会、地区協会の皆様は地域の守り手としての責任感、使命感を持ち、被災者に寄り添いながら献身的に活動していると認識している。北陸地方整備局としては、被災地の方々の思いをしっかりと胸におきながら、皆様としっかり連携して全力で災害対応にあたっていきたい。」と挨拶。続いて、平櫻 保会長が、「道路啓開並びに緊急復旧に対してわれわれ県協会の立場を尊重している。いろいろ反映していただきまして重ねて御礼申し上げます。今日、県内9地区の協会長が集まっており、我々がおかれている現状につきまして、コミュニケーションを深めながら、適切なご指導をいただき、復興に向けて頑張っていきたい。」と挨拶しました。

整備局からの情報提供として、信太啓貴企画部長から「令和6年能登半島地震について」及び「北陸のけんせつミライ2024」に関する説明等があり、引き続き、「令和6年能登半島地震について」フリートーキングで意見交換が行われた。各地区協会長から道路啓開応急工事について状況を説明するとともに県協会から、今後の復旧工事の発注にあたり、地元業者の受注確保、提出書類の簡素化、工事の発注見通しの早期提示等について要望を行いました。整備局からは、「自治体実績評価型」の積極的な導入等を検討するとともに、週休2日を宣言する発注者に対して「無理な工期設定減少のための専用ステッカー」の配布を行う等、丁寧な回答をいただきました。



遠藤仁彦局長



平櫻 保会長



会場

令和6年能登半島地震におけるアクセスルートの確保(道路啓開)

石川県建設業協会では、「令和6年能登半島地震」の発生翌日から道路啓開を実施し、アクセスルートの確保に取り組んでいます。

1. 現場の道路状況

亀裂や陥没・崩壊、路面隆起、斜面崩壊、倒木や土砂崩落等いずれも厳しい状況です。



陥没・崩壊



路面隆起



斜面崩壊

2. 現場での道路啓開

道路啓開は、最低限の瓦礫や土砂を除去し亀裂や陥没の埋戻し等によって緊急車両等のルートを確認するものです。各建設業者は、現場の損壊状態が多様な中、知識と経験、高い技術力と機動力を用いて的確に作業を行っています。



降雪や風雨の悪天候の中、除雪しなければ道路の損傷個所が確認できなかったり、雪道で輸送車が進めず重機を自走させて現場に向かうこともありました。



3. 道路復旧に向けて

会員企業の懸命な道路啓開により、通行不能となっていた箇所が次々と緊急復旧し、能登方面へのアクセスルートが順次、確保されています。石川県建設業協会では、行政と連携をとりながら一刻も早い復旧に向けて、今後も各種業務に従事してまいります。

令和6年能登半島地震災害激励の御礼

2月14日(水)、(一社)群馬県建設業協会青柳 剛会長が、篠原宗應副会長、藤塚永治専務理事とともに、令和6年能登半島地震の被災見舞いに当協会を訪れ、「能登地域の道路啓開をはじめ、災害対応に連日取り組んでいると聞いています。今後大変ですが、頑張ってください。」との温かい激励のお言葉をいただきました。同協会からの



(一社)群馬県建設業協会様



(一社)千葉県建設業協会様

義援金(目録)とあわせて、全国建設業協同組合連合会(青柳会長)からも義援金(目録)を賜りました。

2月26日(月)、(一社)千葉県建設業協会高橋順一会長が相澤忠利専務理事とともに当協会を訪れ、「被災された方々の生活再建、能登の産業復興を願っており、その一助として役立ててください。」との温かい激励のお言葉とともに、同協会から当協会平櫻会長に義援金(目録)を賜りました。

皆様方より心温まる義援金・見舞金と激励を賜りましたことを、心より御礼申し上げます。

(公財)建設業福祉共済団(理事長 茂木 繁)様
(一財)建設業振興基金(理事長 谷脇 暁)様
東日本建設業保証(株)(取締役社長 原田保夫)様
(一社)全国建設業協会(会長 奥村太加典)様
(一社)岩手県建設業協会(会長 向井田 岳)様
(一社)福島県建設業協会(会長 長谷川浩一)様
(一社)宮崎県建設業協会(会長 藤元建二)様
(一社)宮城県建設業協会(会長 千葉嘉春)様
(一社)岐阜県建設業協会(会長 各務剛児)様
(一社)大分県建設業協会(会長 友岡孝幸)様
(一社)北海道建設業協会(会長 岩田圭剛)様
(一社)山梨県建設業協会(会長 浅野正一)様
(一社)茨城県建設業協会(会長 石津健光)様
(一社)東京建設業協会(会長 今井雅則)様
(一社)滋賀県建設業協会(会長 奥田克実)様
(一社)岩手県建設業協会女性協議会(会長 上野千寿子)様
(一社)福島県建設業協会青年委員会(会長 野地大輔)様
余市建設業協会(会長 和田哲也)様
(株)嘴矢組(代表取締役 黒津林太郎)様

※2月末現在、順不同

最近の完成工事から

一般国道304号清水谷バイパスの開通

～県内全ての区間の整備が完了～

石川県土木部道路建設課

1 はじめに

一般国道304号は、歴史的にもつながりの深い石川県金沢市と富山県南砺市を結ぶ県際道路であり、かねてより、両地域間の経済や観光、文化など様々な面で県境を越えた広域交流を促進してきました。

加えて、緊急輸送道路にも指定されており、大雪などで北陸自動車道が通行止めとなった際の迂回路となるなど、県民の安全・安心を確保する上でも大変重要な役割を担っている道路です。

しかしながら、沿線に人家が密集する地域もある中、道幅が狭く、急勾配・急カーブが連続し、安全性が十分に確保されていなかったため、平成2年より順次整備を進め、最後の未整備区間である清水谷バイパスを令和5年11月11日に開通しました。

2 事業概要

事業箇所：金沢市古屋谷町～清水谷町

事業区間：平成27年度～令和5年度

延長：L=1.5km

道路規格：第3種3級

幅員：W=6.5(9.0)m



図-1 広域図（一般国道304号）



写真-1 整備前状況



図-2 標準断面図



図-3 清水谷バイパス周辺状況

3 事業の効果

当該区間の供用により、安全・安心な交通が確保されるとともに、石川・富山両県を結ぶ交流基盤が強化されます。また、東海北陸自動車道・福光ICへのアクセス向上に伴う中京圏への物流効率化が図られ、本県産業の発展に大きく寄与することが期待されます。

4 事業の特徴

建設現場における技術者不足や労働者不足が課題となる中、生産性を向上させるため、大規模な切土や盛土を行う当事業の工事現場では、ICT建設機械によるICT施工を実施しており、令和2年度には、石川県内では初となるICT法面工を実施しました。併せて、建設事業者を対象にICT技術の普及、向上を目的とした講習会や地元の学生を対象とした現場見学会を開催し、人材育成を図りました。

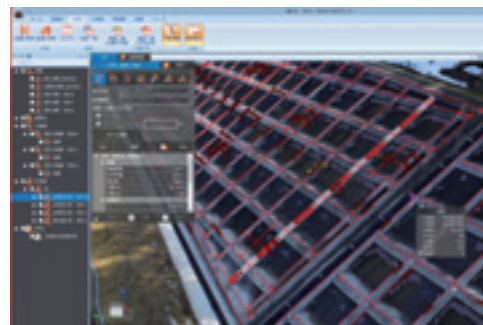


写真-2 ICTによる法面工の出来形計測



写真-3 ICT施工現場見学会

5 おわりに

令和5年11月11日には、馳知事をはじめ多数の方々の出席のもと、開通式や開通パレードが執り行われました。

3月16日には北陸新幹線が敦賀まで延伸し、北陸三県が一時間圏内で結ばれます。今回の開通と北陸新幹線が相乗効果を発揮し、県境を越えたあらゆる交流が一層盛んになることを期待するとともに、本道路の整備に多大なるご尽力を賜りました関係各位に、心から感謝を申し上げます。



写真-4 清水谷バイパス整備状況
(金沢市側から富山県側を望む)



写真-5 開通パレード
(富山県側から金沢市側を望む)

令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.3

施工企業名：三和建設株式会社

■工 事 名 一般県道高屋出田線 地方道改築工事(広栗橋P1橋脚工)

■工 事 分 野 河川・道路構造物工事

■施 工 場 所 珠州市若山町広栗 地内

■工 事 概 要

橋梁下部工

橋脚工 (壁式鉄筋コンクリート橋脚 H=8.5m)

N=1基

基礎工 (場所打ち杭 ϕ 1,200mm L=13.5m)

N=18本

■工 期 令和3年12月1日～令和5年3月10日

■推 薦 理 由

本工事は、一般県道高屋出田線において若山川の河川改修に伴い架け替えする広栗橋の下部工事。

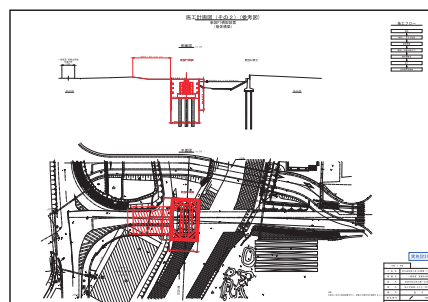
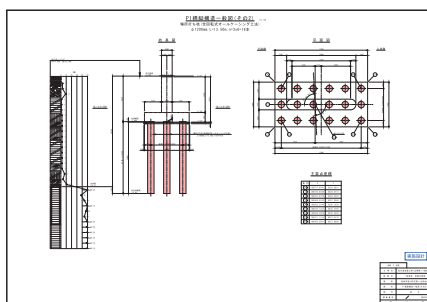
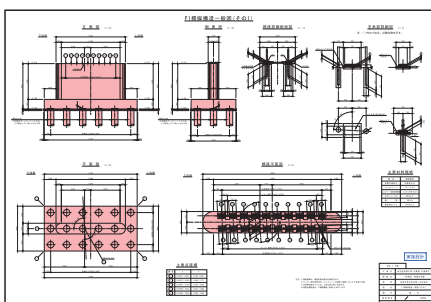
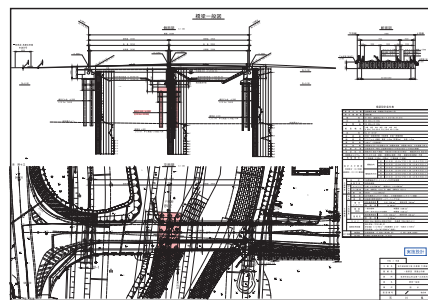
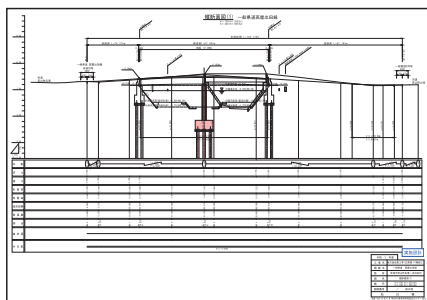
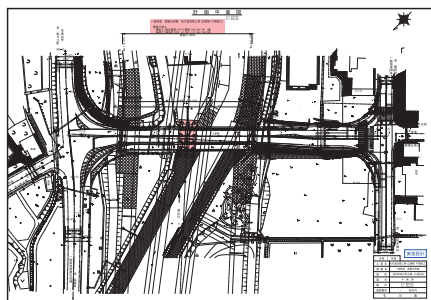
躯体施工時において、冬季のコンクリート養生におけるシートとジェットヒーターの併用や、鉄筋探査機によるコンクリート打設後のかぶり確認を行い、また、杭施工時において、鉄筋かごの片寄防止やかぶり確保のためスペーサーを増設したほか、杭打機の安定性向上のため地盤改良を行うなど、工事全般において品質の向上を図った。

また、現場が住宅に近接していることから、発電機を設けずに仮設受電設備を設置し、騒音・振動の低減を図ったほか、施工ヤードに近接する歩道の安全対策として、飛散防止ネットを設置し、苦情や事故もなく円滑に工事を行った。

そのほか、現場周辺の除草や高校生向けの現場見学会を開催するなど、積極的に地域貢献も行った。



完成写真



広栗橋P1橋脚 (抜粋図面)



基礎杭①



基礎杭②



基礎杭出来形①



基礎杭出来形②



基礎杭出来形③



基礎杭出来形④



基礎杭出来形⑤



躯体型枠組立①



躯体型枠組立②



躯体型枠組立③



飯田高校現場見学①



飯田高校現場見学②



飯田高校現場見学③



飯田高校現場見学④

■現場代理人等のコメント



現場代理人等
山崎慈夫氏

この度は、国土と交通等に関する優良建設工事で知事表彰を賜り、誠にありがとうございました。これも石川県土木部担当監督員並びに関係職員の皆様、工事にご協力いただいた関係者の皆様のおかげで無事工事を完成させることが出来たと深く感謝を申し上げます。

本工事は、「若山川河川改修工事」に伴い河川幅が広がることでもともとにかかっていた「広栗橋」を架け替える橋脚工事でした。まず別途で発注された既設の橋台、基礎杭の撤去後に弊社が施工を引き継ぎ新たに基礎杭の施工をしたのですが、撤去基礎杭の位置と新設基礎杭の打込み場所が大部分でラップしていて撤去した杭穴への偏芯・傾斜・コンクリートの流出等が予想されました。

対策として、ファーストケーシングを押し込んでいく際にケーシング内部の抵抗を減らすために掘削と並行しながら慎重にゆっくりと押し込んでいきました。また、下げ振り等で傾斜確認を行い、ケーシングの傾きを垂直に保つために撤去した基礎杭穴の逆方向気味に細かく上下させながら押し込み、ケーシング2本目の半分以上を押し込むまで慎重に掘削押し込みを施工しました。以上の対策を実施した結果、懸念された基礎杭の偏芯・傾斜・コンクリートの流出もなく無事に橋脚工事を完成させる事が出来ました。

最後になりますが、今回の受賞を糧として更なる技術向上に尽くします。

令和5年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.4

施工企業名：株式会社表組

■工 事 名 令和3年度 農業用河川工作物応急対策事業 七窪地区 樋門工事

■施 工 場 所 かほく市森 地内

■工 事 概 要

樋門工 一式

■工 期 令和3年8月23日～令和4年5月31日

■推 薦 理 由

非出水期に工期が限定された樋門工事

本工事は、かほく市の中心市街地を流れる2級河川宇ノ気川の南側左岸に位置する七窪地区樋門2基のうちの下流側の2号樋門を改修する工事である。

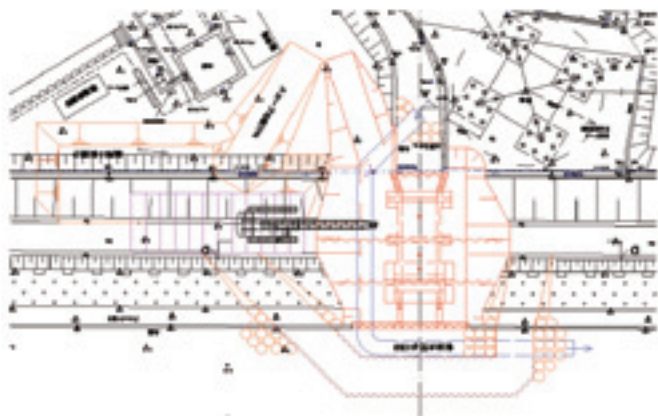
工事は非出水期に限定され、半川締切を行い工事するため、適切な工程管理とコンクリートの品質確保が必要であったが、鋼矢板による2重締切を実施し、冬期間のコンクリートの打設についても凍結防止対策に努め、品質出来栄えとも良好であった。



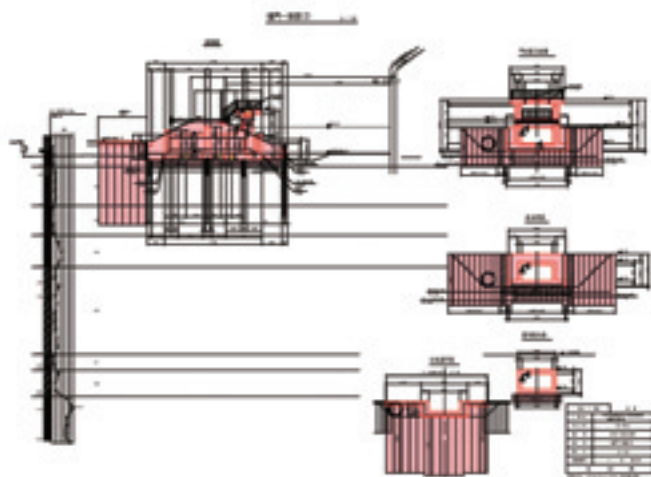
着手前 川表側



完成 川表側



仮設平面図



樋門一般図



2重締切鋼矢板の設置状況



コンクリート打設養生状況

鋼矢板打込み・引抜
油圧杭圧入引抜機の使用

振動騒音低減の工夫

既設樋門取壊し
油圧圧碎機の使用

■現場代理人等のコメント

現場代理人等
沢本敏通氏

このたびは、令和5年度石川県農林水産部優良建設工事知事表彰を頂戴し、心からうれしく思います。この受賞は、県央農林総合事務所所長様はじめ、担当職員の皆様や工事施工に関わる多数の皆様のご協力のお陰だと感謝いたしております。

本工事は、二級河川宇ノ気川の左岸側に位置する樋門施設の更新工事である。非出水期の11月1日から工事着手し、農繁期までには新しい樋門に水路を開通させなければならないこと、工事施工場所の対岸には住宅が密集し生活環境の悪化対策や、冬期でのコンクリートの品質確保などとても厳しい工事でした。

近隣への環境対策では、2重締切鋼矢板の打込み・引抜に使用した機械を電動バイブロハンマーから油圧杭圧入引抜機を使用、既設樋門取壊しには油圧ブレーカーから油圧圧碎機にすることで、騒音振動に配慮した施工を行いました。

コンクリートの品質確保においては、コンクリート打設前から打設後の養生まで型枠や鉄筋に水滴が凍り付かないようにと雪が型枠内部に入らないようにシートで構造物を覆い、ストーブにて凍結やコンクリートの凍害を防止しました。

今後もこの受賞を励みに、より一層努力し、良いものを造っていきたいと思います。

雇用改善コーナー

工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する
協会長表彰の実施

石川県建設業協会では、人材確保・育成事業の一環として、県内の工業系高等学校を対象に、学業成績・学習態度が優秀で、生徒会活動や部活動等に功績があり、卒業後は当協会の会員企業に就職が内定している生徒で、学校長の推薦がある者に対して表彰を行っています。本年度は下記4名を表彰しました。

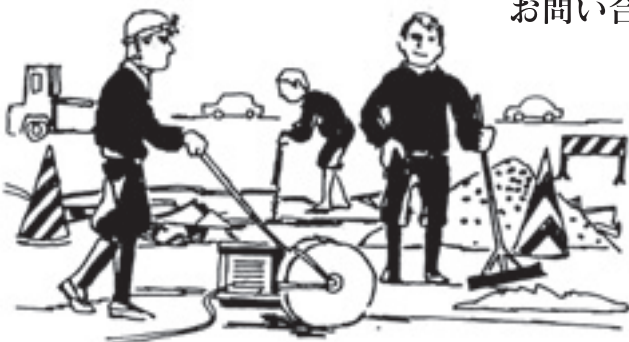


学校名	羽咋工業高等学校 建設・デザイン科 建築コース	羽咋工業高等学校 建設・デザイン科 土木コース	翠星高等学校 総合グリーン科学科 環境科学コース・ 環境設計分野	小松工業高等学校 建設科
氏 名	宗廣美昂香	船登晴二郎	寺田響汰	村井凜平
内定先企業	鈴木建設株式会社	加州建設株式会社	協和道路株式会社	株式会社向出組

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7786

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20

中屋三井ビル2F

地区協会コーナー

～未来型商業エリアの実現に向けて～ 提案された加賀温泉駅南地区の開発構想について

(一社)加賀建設業協会

「地域未来型まちづくり」で地方創生のモデルを目指す加賀温泉駅南地区開発事業に関する構想が、令和5年11月9日に株式会社長工から加賀市に対し提案されました。



イメージパース ※提案時点でのイメージです。

◆提案概要

- 開 発 エ リ ア：加賀温泉駅南側の加賀市医療センターから国道8号までのエリア
- 開発コンセプト：『人と暮らしの未来への懸け橋』となる「交通」、「観光」、「環境対策」、「安心・安全」、「新産業創造」、「生活」の6つの拠点化によるタウンセンターの実現
- 取 り 組 み 内 容：デジタル技術等の先端技術を導入した多様な施設の誘致・整備により、新たな価値を創造し続け、市民・来訪者に魅力的であり、幸福に出会える可能性を感じられる未来型タウンの創造に向けて取り組む

◆開発方針

第1期開発エリアとして、加賀市医療センター寄りの約20ヘクタールを、人流・物流・情報の交流結節点の役目を担う加賀温泉駅南地区開発の核として優先して開発を進める

◆開発スケジュール

第1期開発エリアについては、5年を目途に進めたいとしている

◆第1期開発エリアのイメージ

- 商業・観光・公共関連の複合型エリアの整備を目指している
- 誘致施設のイメージは、有事対応型のビジネスホテルや生活者サポートを目的とした地域密着型ショッピングセンター、アウトレットモールなどの広域観光集客型商業施設、地域産業活性化を目的とした産直マーケットのほか、地域住民サービスなどの公共的機能が考えられている



イメージパース ※提案時点でのイメージです。

今月の「輝き！」さん

No. 107



石川建設工業株式会社 えがわひろと 江川寛翔さん

所 属：土木部
経験年数：2年11カ月
年 齢：21歳

白山市鶴来水戸町の現場事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

—あなたの会社について教えてください。

弊社は昭和23年創立で、道路建設や橋梁維持、耐震補強工事等の一般土木工事をはじめ、鉄道の保線や軌道新設工事等を手掛けています。私は、土木部に所属し昨年5月ごろから手取川災害復旧工事の現場で現場監督として頑張っています。

—令和6年能登半島地震では大丈夫でしたか。

地震が起こった際は、能美市の自宅で震度5を観測し、かなり揺れを感じました。幸い棚のものが床に落ちた程度で済みました。現在担当している現場も被害はありませんでしたが、弊社からは被災現場の道路啓開業務や七尾線復旧工事に多くの社員の方々が出勤しています。

災害現場の話を聞き自分も災害復旧で活躍できるようになりたいと思いました。

—建設業を選んだ理由、入社の一動機等について教えてください。

小学生の頃、自宅近くの手取川橋を通り「どうやって作ったのだろう。」と思い、橋の工事に興味を持ちました。小松工業高等学校建設科を卒業し、インターンシップや現場見学等を経て土木の道に進みました。求職票やホームページ等で、若者の育成や採用、福利厚生が充実していると感じた石川建設工業株式会社を

選びました。

弊社は、先輩方が優しく目上の方でも話しやすい環境です。毎月行われる土木部の全体会議では、それぞれの現場の状況や取り組み等を話し合ったりします。毎年チームで行う金沢城リレーマラソンへ出場し、よい雰囲気で大変働きやすい会社だと思います。

—これまでで思い出に残る現場、苦勞した現場はありますか？

入社1年目の北陸新幹線の高架下整備工事と、一昨年の加賀市内鋼橋の工事現場が印象に残っています。高架下整備工事は、何も分からない状態で先輩方から色々と教えて貰ったことが印象的でした。また、鋼橋の工事現場ではタイヤチェーン装着場所への連絡橋工事で、もともと『橋』に興味があったことから特に印象に残っています。

—仕事の苦勞や、やりがいを感じる時、心がけていることはありますか？

現場の監督業務ですから、協力会社さんたちと打ち合わせをしっかりと行い、スムーズに作業が進行していくこと、そして転落・落下事故防止等の安全管理に努めることを心がけています。

何もない所から構造物が出来上がることから、完成した現場を見たときの達成感は素晴らしく、担当する現場作業にやりがいを感じています。

—将来の夢、目標は？

高校時代に先生から言われた「頭を使え、何事も考えろ。」を忘れず、早く一人前の現場責任者になれるよう日々努力していきます。

今年の秋頃に土木施工管理技士2級試験の合格を目指しています。同時に高校での職場見学で体験したドローン操縦技術を取得したいです。

—最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

私は、寒い場所が苦手でしたし外仕事に不安がありましたが、電熱ベストやカイロ、ネックウォーマー等で乗り切ることができています。ICT技術等で作業の効率化も進んでいますので学校で学んだ知識や経験は必ず活かされると実感する時が来ます。積極的に学び、経験し、土木の道に進んで欲しいと思います。是非、石川建設工業株式会社に一緒に働きましょう。



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」
毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。是非お聞きください。

今月放送

3月26日(火)

協会だより

常任理事会の開催

開催日時 令和6年2月2日(金) 12:40～14:00

開催場所 石川県建設総合センター

出席者 正副会長、常任理事、建設青年委員長、専務理事、各地区協会専務理事(事務局長)、協会事務局

概要

平櫻 保会長の挨拶に続き、令和6年能登半島地震で亡くなられた方への黙とうを行い、能登半島地震への対応等について事務局から報告がありました。

引き続き、中市勝也副会長及び鳳輪・七尾鹿島・羽咋郡市・河北郡市の各地区協会長から支援へのお礼や被災状況等の報告があり、その後、能登地域の復旧に向けた地区の課題や要望等について意見交換を行いました。

【意見交換】

1. 能登半島地震への対応
2. 道路啓開出動に対する手続き、請求等
3. 能登地域の復旧に向けた地区の課題、要望
4. 通達文書の確認、周知
5. その他



担い手確保・育成等特別委員会

◎令和5年度富士教育訓練センター派遣事業の実施について

実施日時 令和6年2月11日(日)～18日(日)

実施場所 静岡県富士宮市 富士教育訓練センター

参加者 36名

概要

担い手確保・育成等特別委員会(委員長 岡 昌弘)は、建設業界に就職が内定している高校生等を対象に、社会人としてのマナー研修と技能資格取得を目的として、富士教育訓練センター(静岡県富士宮市)への派遣事業を実施しており、本年度は36名が参加しました。

7泊8日の期間中、参加者は「就職前準備研修」、「玉掛け技能講習」、「小型移動式クレーン運転技能講習」に取り組み、初日と2日目は、東日本建設業保証(株)のご協力による「就職前準備研修(講師 花輪孝樹氏)」が行われました。

3日目からは、「玉掛け技能講習」、「小型移動式クレーン運転技能講習」の学科と実技講習が行われ、怪我や体調不良等もなく全員が資格を取得しました。

参加者には慣れない環境での長期間の研修となりましたが、資格取得と同時に社会人としての心構えも学習するなど、学生から社会人へのステップアップに向けた大変有意義な研修となりました。



就職前準備研修



玉掛け(実技)



クレーン(実技)

石川県土木施工管理技士会だより

石川県技士会への支援金と義援金の御礼

「令和6年能登半島地震」に対する支援として、1月30日、全国土木施工管理技士会連合会や各技士会から支援金が届きました。さらに、2月22日には山口県土木施工管理技士会から勝井 優会長が訪れ、当協会の鶴山庄市会長に義援金（目録）が手渡されました。石川県技士会の鶴山会長は、「この善意を能登地区の技士会会員に届け、被災地支援活動を進めていく。」と述べられました。皆様からの温かいご支援に心より御礼申し上げますとともに、被災地支援活動がさらに推進されることを期待し、石川県技士会としても引き続き被災地支援に尽力してまいります。



JCM セミナー（DVD 講習会）の開催

開催日時 令和6年2月29日（木） 10:00～12:30、13:30～16:30

令和6年3月4日（月） 10:00～12:30、13:30～16:30

開催場所 石川県建設総合センター

参加者 24名

概 要

講習会は、DVDによる講義形式で行われ、その一言で現場が目覚める～建設工事に学ぶ「リーダー」のコミュニケーション術～、残業を削減する7つの方法を受講しました。受講者には、CPDS6ユニットが付与されました。





建設事業主のみなさん

「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」
のために建退共制度に加入しませんか!

建設業の退職金は
日本全国どこの現場でも
公共工事も民間工事も

建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共



お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。